資料　1

「第５次千葉市生涯学習推進計画」
の達成状況
（令和４年度対象）

＜目　　次＞

Ⅰ	総論	1
Ⅱ	各論	2
	１　学習活動のきっかけの提供	2
	２　多様な学習機会の確保	12
	３　学びを生かしたコミュニティづくり	23

Ⅰ　総論

生涯学習分野については、平成 28 年度から第５次千葉市生涯学習推進計画に基づき各種施策を進めています。なお、第５次千葉市生涯学習推進計画は平成 30 年度末に中間見直し（Ｐ68、69 参照）を行ったため、見直し後の計画に基づき、自己評価を行います。

千葉市生涯学習推進計画の目標

市民が自ら学んだ成果を生かし、

活力あるコミュニティを形成できる環境づくりを進める

～学びを通して地域がつながるまち　千葉市～

「成果指標」における「達成状況」の記載について

各指標について、令和４年度末実績値の状況を３段階に分類します。

区分	説明（成果指標の達成状況基準）
◎	R4 末実績値が最終目標値（R4 末目標値）以上であるもの。
○	「R4 末実績値と H27 末現状値の差」が「最終目標値（R4 末目標値）と H27 末現状値の差」に対し概ね８割以上を達成したもの。
×	「R4 末実績値と H27 末現状値の差」が「最終目標値（R4 末目標値）と H27 末現状値の差」に対し概ね８割以上を達成できなかったもの。

※数値データの出典などについては、各成果指標の右下に示しています。

「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

各計画事業について、令和４年度末の状況を示します。

区分	説明（計画事業の進捗状況基準）
達　成	R4 末実績が最終目標（R4 末目標）以上であるもの。
概ね達成	・定量的に事業量を測れる事業は、「R4 末実績値と H27 末現状値の差」が「最終目標値（R4 末目標値）と H27 末現状値の差」に対し概ね8割以上を達成したもの。 ・その他の事業は、目標事業量からの遅延・乖離が生じていないもの。
未達成	・定量的に事業量を測れる事業は、「R4 末実績値と H27 末現状値の差」が「最終目標値（R4 末目標値）と H27 末現状値の差」に対し概ね8割以上を達成できなかったもの。 ・その他の事業は、目標事業量からの遅延・乖離が生じていないもの。
休　止	事業を休止し、今後再び実施する予定のもの。
中　止	事業を中止し、今後も実施しないもの。

Ⅱ　各論

1　学習活動のきっかけの提供

1-1　生涯学習の普及啓発

施策の方針

- 市民が学びの楽しさ、大切さに興味・関心を持ってもらえるよう、様々な機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。
- 国・県・大学等、市以外が提供する学ぶ場についても積極的に情報発信し、学習機会の拡大に努めます。
- 学習に関する各種相談を受け付けることで、スムーズな学びはじめ・学び直しをお手伝いします。

成 果 指 標

生涯学習振興課

No.	指標	当初	目標	実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
1	生涯学習に関心のある市民の割合	76.9% ※1	90.0%	80.5%	75.9%	76.3%	73.6%	79.2%	84.0%	79.2%	×
											ＷＥＢアンケート（※２）
2	生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合	56.4% ※1	34.0% ※3	19.3% ※4	22.0%	24.5%	27.8%	50.4%	57.7%	52.8%	◎
											ＷＥＢアンケート（※２）

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 26 年 9 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の数値を使用。

※2 平成 28 年度末より、調査方法を「インターネットモニターアンケート」から「WEB アンケート」に変更。

※3 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※4 平成 28 年度末に調査方法を「WEB アンケート」に変更した際、設問内容を変更したため、当初と比べ平成 28 年度以降の数値が大きく変動している。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
1	・SNS や情報誌等各種媒体による学ぶ場と学ぶための情報提供や、生涯学習イベントを継続して実施したが、コロナの影響もあり前年度比で 4.8%降下となり、関心のある市民割合を増やすことができませんでした。	・市民ニーズに応えた各種事業を実施するとともに、SNS を活用した情報の発信や、情報誌やチラシなどの情報を充実させることで、学習のきっかけづくりにつなげ、生涯学習に関心のある市民の割合が増えるよう努めます。
2	・SNS での発信や冊子・チラシなどの発行に加えホームページのリニューアルなど、生涯学習に関する情報提供の充実に努めました。コロナの影響もあり前年度比で 4.9%の減少となりましたが、調査方法を変更した平成 28 年度末の実績値と比べると、評価する市民の割合は高まってきています。	・SNS を活用した情報発信の拡充、情報誌やチラシなどの情報の充実、公民館の掲示板の活用など、各年齢層の利用者に届くよう、様々な手法を活用した情報発信を充実します。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	進捗状況
1	学ぶ場と学ぶための情報提供の充実	SNS 等の活用、市以外が実施する講座情報の収集・提供	実施	実施	拡充	拡充	継続	継続	継続	継続	継続	達成
2	学習のきっかけづくりとなる生涯学習イベントの開催	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
3	e ラーニングの普及事業の実施	e ラーニング普及事業の実施	検討	継続	実施	実施	継続	継続	継続	継続	継続	達成

生涯学習振興課

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・生涯学習センターでは、Twitter や Facebook を使った講座情報の発信を行いました。また、生涯学習広場において近隣大学、社会教育施設等の講座や各種機関の実施する資格取得に関する情報など生涯学習情報を提供しました。 ・公民館では、市政だよりや公民館情報誌、公民館だよりなどの発行により、学ぶための情報の提供に努めました。また、ＳＮＳ（Twitter、Facebook）を利用した情報発信を一部公民館で行いました。	・生涯学習センターでは、今後も継続して、市民に届く情報発信、生涯学習情報の収集に努めます。 ・公民館では、今後も継続して、生涯学習情報を収集し、利用者が使いやすく、分かりやすい情報を発信します。
2	・生涯学習センターでは、まなびフェスタを開催し、気軽に生涯学習に触れる機会を提供しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施回数や定員を減らしたものの、予防対策を講じた上で上映会、コンサートなどを定期的に開催し、生涯学習施設に気軽に足を運んでもらうためのイベントを実施しました。 ・公民館では、新型コロナウイルス感染症の影響により公民館文化祭の開催は 18 館のみとなりましたが、前年度の 2 館のみ開催からは改善しました。一部の公民館では発表の様子をオンラインで発信するなど、コロナ禍においても工夫をし、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会を提供しました。 ・科学館では、様々なテーマで各種講座を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施回数や定員を減らしたものの、オンライン講座を実施するなど、予防対策を講じて実施しました。また科学フェスタメインイベントは事前予約や当日整理券を配るなどして予防対策をしました。	・次年度以降も「まなびフェスタ」や「千葉市科学フェスタ」といった生涯学習イベントを開催し、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝える機会として、継続的に取り組みます。「公民館文化祭」については、コロナ禍でも開催できる方法を主催者とともに引き続き検討していきます。
3	・生涯学習センターにおいて、民間事業者（スクー）と連携して実施したオンライン動画学習サービスにより、1 年を通して e ラーニングに触れて学べる機会を提供しました。	・継続してオンライン学習サービスを提供します。

1-2　学習環境の整備

施策の方針

- 学びに興味を持った市民が学習活動をはじめるにあたって、快適で参加しやすい学習環境の確保に努めます。
- ICT 等の活用を通した生涯学習施設の利用サービスの向上に努めます。
- 生涯学習施設等の保全・改修により、学習環境の維持・向上に努めます。

成 果 指 標

生涯学習振興課

No.	指標	当初	目標	実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
3	市の生涯学習施設が 5 年前よりも利用しやすくなったと考える市民の割合	31.5% ※1	58.0% ※2	— ※3	— ※3	53.3%	— ※3	— ※3	42.5%	— ※3	—
		生涯学習関係団体アンケート									
4	生涯学習施設を年 1 回以上利用したことのある市民の割合	44.1% ※4	80.0% ※2	— ※5	73.1%	68.0%	73.5%	55.6%	56.5%	56.9%	×
		ＷＥＢアンケート（※６）									

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 26 年 11 月に実施した「生涯学習関係団体アンケート」の結果を基に算出。
※2 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。
※3 「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成 28・29・令和元・2・4 年度は未実施。
※4 平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民1万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出。
※5 「市民1万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施。
※6 「市民1万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から「WEB アンケート」により調査。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
3	・老朽化した施設の修繕、備品の交換を実施し、利用しやすい学習環境の整備を進めました。	・引き続き、各施設の修繕や備品の交換を計画的に実施し、利用しやすい施設となるよう環境づくりを進めます。
4	・新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じた施設運営を行いました。利用自粛もありましたが、前年度と比較し、0.4ポイント上昇しました。	・学習環境の整備を進め、市民ニーズに応じた各種事業を実施し、学習のきっかけづくりに努めつつ、新型コロナウイルス感染対策を講じて生涯学習施設を運営します。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、中央図書館、市民総務課、こども企画課

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	進捗状況
1	生涯学習施設等の利用環境の充実	生涯学習センターの施設稼働率	51.5%(H26)	55.0%	58.2%	62.8%	64.7%	60.3%	42.7%	47.7%	56.0%	達成
		公民館の施設稼働率(＊調理室を除く)	45.2%(H26)	51.0%(※)	46.8%	46.8%	45.8%	46.3%	38.5%	39.0%	46.8%	未達成
2	図書館サービスの向上	地区図書館の開館時間の拡大	—	1 館	0 館	0 館	0 館	0 館	0 館	0 館	0 館	未達成
		分館における休日開館の実施	—	3 館	0 館	0 館	0 館	0 館	0 館	0 館	0 館	未達成
3	子どもの居場所の確保	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
4	公民館の改築	犢橋公民館の改築	基本設計	供用	建設中(H29 年 10 月供用開始予定)	H29 年 10 月供用開始	供用済	供用済	供用済	供用済	供用済	達成
5	公民館の改修	冷暖房設備改修	3 館(H26)	4 館(R4 末までの累計)	計 1 館(H28:1 館実施)	計 2 館(H29:1 館実施)	計 2 館(H30:未実施)	計 5 館(R1:3 館実施)	計 6 館(R2:1 館実施)	計 7 館(R3:1 館実施)	計 7 館(R4:未実施)	達成
		屋上防水・屋根改修	3 館(H26)	12 館(R4 末までの累計)	計 4 館(H28:4 館実施)	計 6 館(H29:2 館実施)	計 9 館(H30:3 館実施)	計 11 館(R1:2 館実施)	計 12 館(R2:1 館実施)	計 15 館(R3:3 館実施)	計 15 館(R4:未実施)	達成
		トイレ改修	1 館(H26)	14 館(R4 末までの累計)(※)	計 0 館(H28:実施設計)	計 4 館(H29:4 館実施)	計 6 館(H30:2 館実施)	計 10 館(R1:4 館実施)	計 22 館(R2:12 館実施)	計 27 館(R3:5 館実施)	計 41 館(R4:14 館実施)	達成

※ 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・生涯学習センター、公民館ともに、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による利用制限の緩和により、稼働率はコロナ禍以前の水準に徐々に回復してきています。アルコール消毒、換気など、感染拡大防止策を講じた施設運営を実施しました。 ・公民館では、子どもの居場所づくりを目的として実施した自習室の開設や、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための利用制限が緩和されたことにより、稼働率は令和元年度の水準まで戻ってきました。	・生涯学習センターでは、利用者の意見を参考に利用環境の整備に努めていきます。5 類移行後も、引き続き効果的な換気など、新型コロナウイルス感染拡大防止に留意して施設運営を実施していきます。 ・利用者アンケートなどを参考にし、計画的な修繕等により、市民が利用しやすい施設となるよう努めます。
2	・平成 29 年 3 月に開館した「みずほハスの花図書館」において、休館日である月曜日の開館を実現しました。 ・また、図書館サービスの更なる利便性向上と「With コロナ」の時代における新しい生活様式に対応するため、令和 4 年度は 11,259 冊の図書について電子書籍サービスを提供し、16,856 件の貸出実績がありました。いつでもどこにいても、インターネットを通じて電子書籍を検索し、借りることができ、また、文字の拡大や読み上げ機能など、電子書籍特有の機能によるサービスを提供しました。	・新たな図書館計画「図書館ビジョン 2040（令和 2 年 3 月策定）」 に基づき、各年度策定する事業計画において具体化する施設整備に併せ、開館時間の延長や祝日開館の実現に向け取組みを進めます。 ・電子書籍サービスについては、提供資料の充実を図るとともに、小中学校の読書活動における活用を進めていきます。
3	・信頼できる大人の見守りの中、自然の中で自由に遊ぶことができるプレーパークや、市民ボランティアが運営する「どこでもこどもカフェ」等の事業により、安心して活動できる子どもの居場所の確保に引き続き取り組みました。 ・公民館では、空いている諸室やロビーを自習室として開放しました。	・「どこでもこどもカフェ」や「プレーパーク」、「自習室の開放」など、子どもたちが気軽に立ち寄り、安心・安全に過ごせる地域の身近な居場所を引き続き提供します。
4	・利用者・関係者からの要望を受け、当初の予定を 6 か月前倒しし、平成 29 年 10 月に供用開始しました。	
5	・冷暖房設備や屋上防水改修は、中長期保全計画に基づき進めています。 ・トイレ改修は洋式大便器への改造に特化して改修を進め、洋式便器の設置率を早期に向上させるよう前倒しして進めた結果、移転予定の千城台公民館を除く公民館が全て洋式便器となりました。	・既設公共施設の長寿命化及び効率的な保全改修は全国的な課題となっています。計画的な維持保全を行うための個別施設計画の策定を進めています。

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	進捗状況
6	中央図書館・生涯学習センター等の改修	中央図書館・生涯学習センターの改修	中央監視装置更新（H26）	工事完了済	実施設計	H30 年 3 月工事完了	工事完了済	工事完了済	工事完了済	工事完了済	工事完了済	達成
				工事完了済	実施設計	H30 年 3 月工事完了	工事完了済	工事完了済	工事完了済	工事完了済	工事完了済	達成
		南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館　受水槽更新工事	—	工事完了済	—	—	—	—	—	—	—	休止
7	コミュニティセンターの改修	外壁・屋上防水改修	工事 2 館（H26）	実施設計 1 館（※１）	計工事 0 館（H28：未実施）	計工事 0 館（H29 未実施）	計工事 1 館（H30：1 館実施）	計工事 1 館（R1：未実施）	計工事 1 館（R2：未実施）実施設計 1 館（R2：1 館実施）	計工事 2 館（R3：1 館実施）実施設計 1 館（R3：未実施）	計工事 2 館（R4：未実施）実施設計 2 館（R4：1 館実施）	達成
		空調・熱源改修	実施設計 1 館（H26）工事 1 館（H26）	実施設計 1 館工事 1 館（※１）	計工事 1 館（H28：1 館実施）	計工事 1 館（H29：未実施）	計工事 2 館（H30：1 館実施）	計工事 2 館（R1：未実施）	計工事 2 館（R2：未実施）実施設計 1 館（R2：1 館実施）	計工事 3 館（R3：1 館実施）実施設計 3 館（R3：2 館実施）	計工事 5 館（R4：2 館実施）実施設計 3 館（R4：未実施）	達成
		劣化度調査	—	3 館（※１）	計 2 館（H28：2 館実施）	計 2 館（H29：未実施）	計 2 館（H30：未実施）	計 3 館（R1：1 館実施）	計 3 館（R2：未実施）	計 3 館（R3：未実施）	計 3 館（R4：未実施）	達成
8	千葉市科学館リニューアル（※2）	千葉市科学館展示リニューアルの検討	—	検討	—	—	—	検討	設計	施工	リニューアルの実施	達成
9	公民館への社会教育主事配置（※2）	公民館における社会教育主事資格取得者数	—	12 人	—	—	13 人	15 人	20 人	26 人	28 人	達成

※1 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※2 アクションプラン8「千葉市科学館リニューアル」とアクションプラン9「公民館への社会教育主事配置」は 平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加したアクションプラン。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
6	・中央図書館・生涯学習センターのアトリウムガーデン屋根防水、吊天井落下防止対策は平成 30 年 3 月に完了しました。 ・南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の受水槽更新工事については、緊急性が低いとの判断から、改修が先送りとなりました。	・施設利用者への影響を考慮しながら、効率的な施設改修を検討します。
7	・中期保全計画に基づき、計画的に施設改修を進めました。令和 4 年度は蘇我コミュニティセンター及び鎌取コミュニティセンターで空調設備改修工事を実施しました。 また、真砂コミュニティセンターで外部改修実施設計業務委託を実施しました。	・今後も、計画的に施設改修を実施します。
8	・科学都市戦略の拠点としての機能を向上し、「科学都市ちば」の実現を進めるため、令和 4 年 5 月～9 月末で展示物のリニューアル施行しました。リニューアル後の令和 4 年度下半期の入館者数が、過去 5 年間で最大となるなどの成果がみられました。	・リニューアルの実施を広く周知し、多くの市民の方に新しい提示物を体験してもらえるように努めます。
9	・職員の専門性を向上することにより、社会教育活動を活発化するため、公民館職員の社会教育主事資格取得を進め、令和 4 年度中に資格取得者が 2 人増加しました。	・今後も社会教育主事講習等に公民館職員を積極的に推薦し、資格取得者の増加に努めます。

2　多様な学習機会の確保

2-1　郷土への愛着を深める学習機会の提供

施策の方針

- 郷土に対する理解と愛着を深めるため、地域の歴史や文化資源を生かした学習機会を提供します。
- 郷土の伝統・文化を適切な保護・保存方法により後世に引き継ぐとともに、ふるさと意識の醸成を図ります。

成 果 指 標

文化財課

No.	指標	当初	目標	各年度の実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
5	郷土の歴史や文化財に愛着を感じる市民の割合	38.3% ※1	59.0% ※2	— ※3	55.7%	61.3%	57.0%	59.0%	65.3%	63.8%	◎
		ＷＥＢアンケート（※４）									

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出。

※2 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※3 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施。

※4 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から「WEB アンケート」により調査。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
5	・特別史跡加曽利貝塚や千葉市の礎を築いた千葉氏などを筆頭に、ＰＲ事業を継続的に実施しました。 ・前年度と比較し、1.5 ポイント減少したものの、郷土の歴史や文化財に対する市民の興味・関心は高まってきていると考えられます。	・より多くの方に満足いただける学習機会を提供できるよう、引き続き、郷土への理解を深める講座・事業の充実など関連するアクションプランの充実を図ります。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、文化財課、文化振興課

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	進捗状況
1	加曽利貝塚の特別史跡指定	総括報告書の刊行	総括報告書の作成	総括報告書の刊行	総括報告書の刊行	刊行済	刊行済	刊行済	刊行済	刊行済	刊行済	達成
2	文化財の保存・活用の推進	ゆかりの家・いなげの改修	—	外壁等腐食箇所修繕、電気設備工事完了	—	—	—	電気設備工事実施設計	外壁等腐食箇所修繕	電気設備工事	改修済	達成
		旧検見川無線送信所の修繕	屋上防水実施設計	屋上防水及び外壁補修工事完了	屋上防水改修工事完了	屋上防水改修工事完了（H28 の実績再掲）	—	—	—	—	—	休止
		市民ギャラリー・いなげ（旧神谷伝兵衛稲毛別荘）の改修	基本設計	耐震改修、屋根防水改修工事完了	実施設計	—	耐震改修、屋根防水改修工事	耐震改修、屋根防水改修工事完了	工事完了済	工事完了済	工事完了済	達成
3	郷土の理解を深める講座・事業の充実	加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業	11 事業	13 事業	13 事業	15 事業	34 事業	41 事業	37 事業	32 事業	38 事業	達成
		千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業	24 事業	26 事業	26 事業	25 事業	28 事業	27 事業	25 事業	27 事業	24 事業	未達成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・平成 29 年 3 月「史跡 加曽利貝塚 総括報告書」刊行し、同年 10 月 13 日付けで特別史跡に指定されました。	・加曽利貝塚の発掘調査や史跡整備を進めるとともに、新たな縄文体験の提供など来場者のニーズを踏まえた事業を積極的に実施します。
2	・ゆかりの家・いなげは、令和 3 年度に電気設備工事を実施し、計画していた改修を完了しました。 ・旧検見川無線送信所では、屋上防水工事を平成 28 年度に実施したことにより、以後、雨漏りによる被害は発生していません。 ・市民ギャラリー・いなげでは平成 30 年 10 月から耐震改修工事を 2 か年継続事業で実施していましたが、令和 2 年 3 月に再開館しました。	・ゆかりの家・いなげは、今後も必要な修繕を実施し、適切に管理を行います。 ・旧検見川無線送信所は、区画整理事業地内のため、再整備計画のスケジュールを勘案の上、建物の劣化状況を注視しつつ、ワークショップにより聴取した市民意見の実現方法を検討していきます。 ・市民ギャラリー・いなげでは、工事完了を踏まえ、安全のため同時に 7 人までとしていた入館制限を緩和し、公開事業を促進するとともに、イベント等の開催場所とするなど用途拡充を図り、活用していきます。
3	・加曽利貝塚博物館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1 日 1 団体限定で学芸員による簡易解説を行いワークシートにより学習するなど団体対応の方法を見直すとともに、講座等の定員を減らしたり、集客イベントの規模を縮小して実施するなどの工夫により、当初計画していた 32 事業のうち、31 事業を実施することができました。講座については、対象を初心者から研究者向けと幅広く設定をすることにより、市民だけでなく、遠方からも参加がありました。 ・郷土博物館では、新型コロナウイルス感染状況をみながら、教育普及事業を実施しました。一部、中止したものもありますが、講座等については令和 3 年度よりも定員を増やして実施しました。また、政令市移行 30 周年記念特別展「我、関東の将軍にならん」、同企画展「甘藷先生の置き土産」など展示事業は予定どおり実施しました。さらに、市史編さん事業では、『千葉市史史料編近現代』刊行に向けた編集作業を進めました。 ・埋蔵文化財調査センターは、感染症対策として一部事業については実施回数を増やして 1 回あたり人数を減らすなどしながら、まいぶん古代体験教室など郷土史関連事業 6 事業に加え、加曽利貝塚博物館と連携した「加曽利貝塚現地説明会」など、縄文関連事業 7 事業を実施しました。	・加曽利貝塚博物館では、動物公園や科学館、学校等と連携し、相互交流を伴う事業を展開します。また、ホームページにおいて、館長や学芸員から貝塚や博物館の情報を今後も発信するほか、Twitter アカウント等による迅速な情報発信を継続します。 ・郷土博物館では、魅力ある事業を展開していく上で、その基礎となる調査研究を着実に進められるよう、研究体制の充実に引き続き努めています。また、学校と連携したアウトリーチ活動を充実させていくとともに、ホームページや SNS を活用し、郷土史についての情報を積極的に発信します。市史編さん事業では計画通り『千葉市史史料編近現代』刊行を進めるとともに、その後の刊行計画についても検討してまいります。 ・埋蔵文化財調査センターでは、加曽利貝塚をはじめとする発掘調査の成果を遺跡見学会や遺跡発表会で公表します。学校教育や他施設との連携を図り、埋蔵文化財の活用を積極的に展開します。また、さらなる情報発信のため、SNS やホームページの充実に努めます。

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27末	R4末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末	進捗状況
4	縄文文化調査研究の推進（※）	特別史跡加曽利貝塚の究明に向けた発掘調査	―	調査概報の刊行	―	―	―	―	―	―	―	未達成
5	特別史跡加曽利貝塚の魅力向上（※）	加曽利貝塚博物館の来館者数	―	100,000人	―	―	77,222人	67,632人	33,500人	52,124人	53,378人	未達成

※ アクションプラン4「縄文文化調査研究の推進」とアクションプラン5「特別史跡加曽利貝塚の魅力向上」は、平成30年度末に行った中間見直しにより追加したアクションプラン。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
4	・平成29年度から令和元年度の3か年で、南貝塚700㎡の範囲について発掘調査を実施しました。それにより、加曽利貝塚は約5～3千年前の大規模な集落遺跡として知られていましたが、より新しい時期まで関東屈指の集落が存続していたことが明らかになりました。 ・令和2年度から令和4年度の3か年で、南貝塚中央部1,669㎡の発掘調査を実施し、中央窪地が縄文時代晩期には形成されていたことを明らかにしました。	・令和5年度から3か年計画で北貝塚の発掘調査を行います。 ・平成29年度から令和元年度の調査成果について、令和2年度から4年度の3か年で整理作業を実施し、令和5年度に調査報告書を刊行します。
5	・令和4年度は新型コロナ感染症拡大の影響はあるものの、令和3年度の52,124人と比べ増加しました。 ・かそりえ(便益施設)の新築工事と、北貝塚の遺構保存のための樹木伐採を昨年度に引き続き行い、復元住居建築素材の搬入などを行いました。かそりえの完成により、雨天時、夏季冬季の見学者の利便性が向上し、またイベント時の会場等、有効活用が見込まれます。 ・新博物館については令和3年度に策定した基本計画に基づき、ＤＢＯ方式による施設整備運営に向けた手続きを開始しました。	・新たな来訪者を獲得できるイベントや縄文体験プログラムを企画・実施します。 ・新博物館については、施設整備運営事業の入札を実施し、落札者を決定したうえで、年度末までに工事請負契約並びに維持管理運営委託契約を締結します。

2-2　市民ニーズに対応した学習機会の提供

施策の方針

- 急速に変化・多様化する現代社会において、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応するため、幅広い分野にわたる学習機会を提供します。
- 科学・技術に関する講座・事業を通して、市民のライフスタイルに科学が溶け込む環境づくりを進めます。
- 様々な立場の市民が、生涯を通じて必要な知識・技能を身に付けられるよう、学び直しを支援します。
- 子どもから子育て世代、お年寄りまで、様々な世代のライフステージに応じた学習機会を提供します。

成 果 指 標

生涯学習振興課

No.	指標	当初	目標	実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
6	公民館の講座の参加者の満足度	98.2%	99.5%	98.5%	98.7%	98.4%	98.4%	97.9%	98.0%	98.5%	×
		受講者アンケート									
7	「科学都市ちば」の認知度	38.6% ※1	50.0%	55.6%	56.7%	47.5%	47.0%	41.3%	40.6%	34.7%	×
		ＷＥＢアンケート（※２）									

※1　平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 2 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の結果より算出。

※2　平成 28 年度末より、調査方法を「インターネットモニターアンケート」から「WEB アンケート」に変更。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
6	・地域における課題や利用者のニーズを把握し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながら講座内容や実施方法を見直しつつ主催事業を実施し、前年度と比較して0.5ポイント上昇しましたが、目標の99.5%には到達できませんでした。	・受講者アンケートの意見等を参考にし、地域課題、利用者のニーズ、不満だった理由を的確に把握したうえで、企画内容、講座の運営方法の改善に努め、満足度の向上を図ります。
7	・ここ数年では、下降傾向が続いている。今年度は前年度と比較して5.9ポイント下降しました。 ・科学館の入館者数や科学教育事業への参加数は増加している。それらの事業が「科学都市ちば」として一体となって取り組んでいるということを周知していく必要があると考えます。	・千葉市科学フェスタメインイベントや科学館事業の充実はもちろん、未来の科学者育成プログラム等、児童生徒向けの事業のなど、一体となって取り組んでいる「科学都市ちば」の広報活動に努めていきます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、中央図書館、文化振興課、スポーツ振興課、教育改革推進課、高齢福祉課

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	進捗状況
1	現代的課題学習事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
2	文化・芸術学習事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
3	スポーツ・レクリエーション推進事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
4	「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備	「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備	検討	供用	H29 年 3 月 28 日供用開始	供用	供用	供用	供用	供用	供用	達成
5	科学関連学習事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
6	未来の科学者育成プログラムの充実	未来の科学者育成プログラムの実施(ジュニア講座受講者数)	実施	拡充 (100 人) (※1)	拡充	実施 (受講者数減)	71 人	159 人	25 人	135 人	170 人	達成
		ロボット工学講座の実施(中高生対象講座)(※2)	—	4 講座	—	—	2 講座	3 講座	2 講座	2 講座	4 講座	達成

※1 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※2 アクションプラン 6「未来の科学者育成プログラムの充実」の「ロボット工学講座の実施」は、平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加した項目。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・生涯学習センターでは、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けつつも、防災、医療・健康、人と動物の共生、高齢者関係、家庭教育など様々なテーマで講座を開催したほか、コロナ禍でも市民への学習機会を継続して提供するため、一部の講座はオンラインで実施しました。 ・公民館では、情報（ＩＣＴ）・防災・環境・健康・消費生活・歴史・国際交流など、現代的な課題に関する講座を実施し、社会の中で自立して、生涯にわたって生きる力や地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に着けた人材の育成に努めました。 ・図書館では、12 月にビジネス支援講座や市民講座を開催し、受講者アンケートでは概ね好評を得ています。	・今後も地域課題や利用者ニーズを把握し、多くの市民が参加しやすい学習機会を提供します。
2	・市民が主体となるような事業や子ども・若者が文化芸術に親しむことができる事業を実施しました。	・「第 2 次千葉市文化芸術振興計画」に基づき、チバリアフリーアートプロジェクト等の文化芸術事業やメディア芸術振興事業等の子ども若者向け文化芸術事業を継続して実施していきます。
3	・小中学校を対象としたトップスポーツチームによる学校訪問事業や、様々なスポーツ教室の開催などを実施することにより、世代やニーズに応じたスポーツ施策を行いました。地区体育祭（21 地区実施）、スポーツ・レクリエーション祭（18 種目、3 体験実施）も感染予防対策を講じながら開催でき、徐々にコロナ前に戻りつつあります。	・スポーツ推進計画に基づき、引き続きライフステージに応じた各種スポーツ施策の取組みを継続します。
4	・「(仮称）瑞穂情報図書センター（現：みずほハスの花図書館)」は、寛ぎながら読書を楽しめるスペースの設置に加え、自動貸出機、タブレット端末及びデジタルサイネージ等のＩＣＴ機器を活用したサービスの導入など、新たな取組を行う図書館として、花見川区役所 1 階に整備を進め、平成 29 年 3 月に供用を開始しました。なお、みずほハスの花図書館の効果検証結果については、「新たな図書館計画（現：千葉市図書館ビジョン 2040）の策定」の基礎資料として活用しました。	・開館後の利用統計を通じ、新たな図書館のモデル事例として検証を継続し、今後の施設整備を進める際のデータとして活用します。
5	・生涯学習センターでは、子どもを対象にした講座を 9 講座開催しました。また、市民を対象にした科学の講座も 1 講座開催しました。 ・公民館では、幅広い年代に向けて、科学関連学習講座を 164 講座実施しました。 ・科学館では、館内の講座や企画展の他、館外での出前授業などのアウトリーチ活動などにより、日常に科学が浸透する取組を実施しています。平成 30 年度より小学校への科学館出張授業「おもしろ教室」を始め、令和 4 年度は 169 回実施しました。	・公民館や生涯学習センター、科学館などで、科学都市戦略事業方針に基づき、科学関連学習事業を継続して実施します。
6	・ジュニア講座は、7 講座の実施で延べ 170 人の参加となりました。 ・ロボット工学講座は、千葉大学・千葉工業大学の協力により 4 講座実施し、延べ 127 人の参加となりました。 ・全ての講座も抽選での実施となり、関心の高さが伺えます。	・今後も参加者のニーズを把握しつつ、大学や研究機関などと協力して、各種講座数の増加、講座内容の拡充を図ります。

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27末	R4末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末	進捗状況
7	キャリア教育の推進	キャリア教育の推進	検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	達成
8	放課後子ども教室の推進	実施日数	21.2日/校（H26）	従来型22.0日/校 活動支援型28.0日/校(※1)	19.8日/校	19.8日/校	従来型17.9日/校 活動支援型25.9日/校	従来型16.9日/校 活動支援型28.0日/校	従来型4.2日/校 活動支援型14.1日/校	従来型6.0日/校 活動支援型16.2日/校	従来型11.3日/校 活動支援型17.1日/校	未達成
		活動支援実施校数（※2）	—	17校	—	—	17校	17校	17校	17校	17校	達成
		一体型事業実施校数（※2）	—	18校	—	—	1校	6校	12校	18校	24校	達成
		放課後子どもプラン策定（※2）	—	策定	—	—	策定	策定（H30の実績再掲）	策定（H30の実績再掲）	中間見直し	策定	達成
9	子ども読書活動の推進	読書習慣のある児童生徒の割合（小学5年生）	45.1%（H26）	52.5%	45.9%	48.1%	44.0%	44.1%	46.0%	42.4%	41.1%	未達成
		読書習慣のある児童生徒の割合（中学2年生）	46.7%（H26）	52.5%	44.4%	44.5%	43.0%	—（※3）	44.2%	41.5%	39.9%	未達成
		1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合（小学生）	1.1%（H26）	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%	0.6%	0.3%	0.3%	0.6%	達成
		1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合（中学生）	7.9%（H26）	5.5%	2.8%	1.6%	1.3%	0.9%	2.6%	1.3%	1.2%	達成
10	青少年教育・少年教育事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成

※1 平成30年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※2 アクションプラン8「放課後子ども教室の推進」の「活動支援実施校数」、「一体型事業実施校数」、「放課後子どもプラン策定」は、平成30年度末に行った中間見直しにより追加した項目。

※3 休校措置により「千葉市学力状況調査」を実施していないため、R1末実績値は把握できない。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
7	・生涯学習センターでは、子ども向けを2講座、シニア・女性など成人を対象に6講座実施しました。 ・支援体制構築のため、経済部や労働局と連携したことで、キャリア教育推進のための学校訪問に協力する企業や職種が増えました。 ・児童生徒のニーズに応じ、企業・団体、専門高校等の学校訪問を実施することで、キャリア教育の充実を図りました。	・生涯学習センターでは、引き続き関連機関とも連携し、実施します。 ・学校訪問に協力する企業・団体等の拡充は進みましたが、内容の充実に課題が残りました。今後は内容や実施方法をパッケージ化し、より学校、企業団体等が取り組みやすいように改善していきます。 ・学校、企業、大学等の有識者で構成されるキャリア教育推進連携会議を開催し、本市のキャリア教育の指針となる「千葉市のキャリア教育」を令和5年度に改訂します。
8	・放課後施策をさらに推進するため、令和4年度に放課後子どもプラン（第2期）を、1年前倒しで策定しました。 ・放課後子ども教室は、新型コロナウイルス感染症の影響で活動が縮小されましたが、令和3年度よりも実施日数が増加しました。また、実行委員会の負担が大きいことや、担い手不足が実施日数を増加する上での課題となっています。 ・活動支援型は対象校17校を希望制により決定し、各学校の状況に応じた支援を行いました。 ・一体型事業（アフタースクール）は、18校から24校に拡充し、「安全・安心な居場所」と「学びのきっかけ」の提供に努めています。令和4年度に実施したアンケートでは、保護者、児童ともに概ね8割の利用者から「満足」との回答が得られました。	・放課後子どもプラン（第2期）に沿って、放課後子ども対策を進めます。 ・また、アフタースクールは、令和5年度に34校に拡充するとともに、令和6年度の 10 校拡充に向けた開設準備を実施します。
9	・「ファミリーブックタイム事例集」や「どくしょてちょう」の配布、子ども読書まつり実施などにより、子どもが自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるように支援し、読書環境の整備へ向けた取組みを行いました。 ・読書習慣のある児童生徒の割合は、年齢（学年）が上がるにつれて読書をしなくなる傾向が見られ、これは勉強やスマートフォンの普及・インターネット利用の増加による影響により、家庭での読書の時間を十分に確保できていない可能性が考えられます。 ・1か月間に読んだ本が0冊の児童生徒の割合はほぼ横ばいです。一斉読書や朝読書など、学校での取組みの成果が表れています。	・子どもの読書活動の推進を図るため、「団体貸出」や「セット貸出」により図書資料の有効活用を図るとともに、「図書館見学」、「おはなし会」、「調べ学習」など体験を通した学びを支援していきます。 ・また、令和3年3月に策定した第4次子ども読書活動推進計画に基づき、図書館システムを通した学校との連携について検討していきます。
10	・生涯学習センターでは、主に小学生を対象に、体験を中心とした講座を18講座実施しました。 ・公民館では、異年齢の子ども同士が学びあったり、家庭では体験できない学習・工作等ができたりする講座を410講座実施しました。 ・南部青少年センターでは、学年の異なる児童生徒に体験学習の場を提供し、異年齢の交流を通して青少年の健全な育成を図るため15講座実施しました。	・今後も利用者ニーズを把握しつつ、多様な体験学習機会の提供を継続的に実施します。

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27末	R4末	H28末	H29末	H30末	R1末	R2末	R3末	R4末	進捗状況
11	家庭教育支援事業の実施	「子育てママのおしゃべりタイム」の実施館数	21館(H26)	28館	22館	22館	22館	22館	21館	21館	23館	未達成
		「子育てママのおしゃべりタイム」の延べ参加者数(※1)	—	2,500人	—	—	1,925人	1,677人	1,051人	1,235人	1,765人	未達成
12	高齢化社会に対応した学習機会の提供	生きがいづくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座の開催	実施	拡充	実施	実施	拡充	拡充	実施	実施	実施	達成
13	公民館主催講座の実施・拡充	主催講座の実施・拡充(※2)	—	900講座	—	—	972講座	1,085講座	618講座	1,065講座	1,312講座	達成

※1 アクションプラン 11「家庭教育支援事業の実施」の「「子育てママのおしゃべりタイム」の延べ参加者数」は、平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加した項目。

※2 アクションプラン 13「公民館主催講座の実施・拡充」は、平成 30 年度末に行った中間見直しにより追加した項目。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
11	・家庭教育の支援や子育ての不安や悩みを解消するため、「子育てママのおしゃべりタイム」を公民館で実施しました。当該事業の担い手である子育てサポーターや地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整しています。少子化や就労家庭の増加により参加者数は減少しており、実施館数の増加には至っていません。 ・新型コロナウイルス感染の影響により、利用者が減少傾向にありましたが、回復傾向にあります。	・引き続き、人材の確保などの実施体制を強化しながら、地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整していきます。また、子育てサポーター間で情報交換をし、よい取組みを共有します。
12	・生涯学習センターでは、高齢者の生きがいづくりや健康、相続に関する講座を合わせて6講座実施しました。 ・公民館では、健康セミナーや終活講座などの高齢化社会に対応した講座を149講座実施しました。また、デジタルデバイド解消のため、スマートシティ推進課や民間企業などと連携しながら、スマートフォンやパソコンの操作方法を学ぶ講座を積極的に開催しました。 ・いきいきプラザ・センターでは、陶芸やデッサンなど美術系の講座、太極拳やヨーガなど健康増進に繋がる講座、デジタルデバイド解消のためのスマホ講座など208講座を実施し延べ35,554人が受講しました。	・今後も社会の変化を注視しながら、利用者ニーズを把握し、継続的な学習機会の提供に努め、引き続き高齢者の健康増進や生きがいある生活が送れるよう支援します。
13	・新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限等が緩和されたため、前年度よりも多様な講座を実施することが可能となりました。また、一部の講座ではオンライン受講やサテライト会場を設けるなどの方法で実施しました。	・今後も利用者ニーズを把握し、オンラインを活用した開催方法も交えた学習機会の提供に努めていきます。

3　学びを生かしたコミュニティづくり

3-1　地域の担い手となる人材育成

施策の方針

- 地域における学習活動の活発化を図るため、専門的知識を持つリーダーをはじめ、地域・団体活動のリーダー、ボランティア等の人材を育成します。
- 講座などの学習活動をきっかけとして仲間づくり、絆づくりを進め、学習活動の担い手の育成につなげます。

成 果 指 標

生涯学習振興課

No.	指標	当初	目標	実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
8	市民のボランティア活動・地域活動への参加状況	16.4% ※1	30.0%	21.9%	13.5%	16.7%	16.1%	22.0%	18.9%	10.9%	×
		ＷＥＢアンケート（※２）									

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 26 年 9 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の結果より算出。

※2 平成 28 年度末より、調査方法を「インターネットモニターアンケート」から「WEB アンケート」に変更。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
8	・住民が地域について理解を深め、関心や愛着を持ち、さらに地域的課題について考える契機とするために、地域のニーズや課題、特色などをテーマとした事業を実施し、地域の連帯感を醸成し、地域づくりやボランティア活動などへ住民の取組みにつなげるために、各種講座の実施数を増やした結果、ボランティア者数は上向きましたが、参加状況は前年度と比較し、8 ポイント下降しました。	・市民ニーズを踏まえボランティア活動・地域活動に関する各種講座の充実を図るとともに、活動の周知や活動場所の発掘などに努め、学習成果を地域に還元できる活動への参加につなげます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、高齢福祉課等

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	進捗状況
1	団体・グループ活動のリーダーの養成・育成	指導者養成研修＊延受講者数	333 人（H26）	400 人	389 人	364 人	347 人	316 人	120 人	150 人	537 人	達成
2	ボランティアの育成	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数	1,634 人（H26）	2,000 人	1,635 人	1,697 人	1,743 人	1,834 人	1,802 人	1,872 人	2,079 人	達成
3	家庭教育支援事業の実施（一部再掲）	家庭教育支援チーム数	2 チーム（H26）	4 チーム	2 チーム	2 チーム	2 チーム	2 チーム	3 チーム	3 チーム	3 チーム	未達成
		子育てサポーター人数	33 人（H26）	42 人	36 人	39 人	35 人	37 人	37 人	35 人	35 人	未達成
4	高齢化社会に対応した学習機会の提供（一部再掲）	健康・福祉・介護予防等に有用な実践的講座の開催	実施	拡充	実施	実施	拡充	拡充	実施	実施	実施	達成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・生涯学習センターでは、ボランティア入門講座のほか、リーダー育成や資質向上をテーマとした各種研修事業を実施しました。また、放課後子ども教室コーディネーター等研修会を放課後フェスと同時開催したことで、多くの方にご参加いただきました。 ・公民館では、団体・グループ活動のリーダーの養成・育成講座を実施しました。	・生涯学習センターでは、受講者のニーズを把握して、指導者として必要な資質を高めるための研修を実施します。また、団体活動活性化に必要とされるコミュニケーションのとり方に目的を置くなど、活動に関わる方が積極的に参加できる研修を実施します。 ・公民館では、引き続き、地域活動に役立つ講座を実施し、指導者養成に取り組んでいきます。
2	・ちば生涯学習ボランティアセンターの登録者数は着実に増加しています。ただし、ボランティアの高齢化や、新型コロナウイルス感染症拡大防止による団体の活動休止の影響もあり、登録を抹消するボランティアもいるため、大幅な増加は見込めない状況となっています。 ・なお、団体登録数は、令和 3 年度 105 団体から、令和 4 年度は 130 団体に増加しました。	・引き続き、合同説明会の開催等を通して、他の施設・団体が所管するボランティア等との連携・協働を図るとともに、ボランティアセンターの広報活動の充実に努めます。
3	・家庭教育支援チームでは、地域団体（育成委員会や PTA など）との会議や共催で行う学習講座などを行っており、地域とのつながりを深めつつ地域人材を育成しています。また、子育てサポーターによる「子育てママのおしゃべりタイム」は、子育ての悩みなどを相談できる場所として認知されてきており、今後も継続的な需要が見込めます。しかし、就労されている方の負担などが理由で、チーム数やサポーター人数は目標値に至っておらず、特に家庭教育支援チームは臨床心理士や保育士等で構成されるため、人材の確保が課題となっています。	・人材の確保については、引き続き、公民館や学校の協力を得て、子育てサポーターや青少年育成委員等の既存の家庭教育関連団体に適切な人材の紹介を呼びかけるとともに、チームが開催するイベント等についてもより一層の広報ＰＲに努め、参加者を含めより幅広く参画を働きかけていきます。
4	・公民館では、健康セミナーや終活講座などの高齢化社会に対応した講座を実施しました。 ・いきいきプラザ・センターでは、陶芸やデッサンなど美術系の講座、太極拳やヨーガなど健康増進に繋がる講座、デジタルデバイド解消のためのスマホ講座など 208 講座を実施し延べ 35,554 人が受講しました。	・引き続き、高齢化社会に対応した講座を実施するなど、高齢者の健康増進や生きがいがある生活が送れるよう支援します。

3-2　学習成果の活用機会の提供

施策の方針

- 学習の成果を社会・地域に還元できるよう、様々な活用方法や機会を提供します。
- ボランティア等が市民の学習ニーズに合わせて活躍できるよう、支援が必要な者とのマッチングや活動紹介等の機会を確保します。
- ボランティア等が自ら積極的に活動・情報発信できるよう、拠点となる場所を確保します。

成 果 指 標

生涯学習振興課

No.	指標	当初	目標	実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
9	年 2 回以上学習成果を地域に還元する団体の割合	43.7% ※1	71.0% ※2	― ※3	― ※3	67.6%	― ※3	― ※3	66.1%	― ※3	―
		生涯学習関係団体アンケート									

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 26 年 11 月に実施した「生涯学習関係団体アンケート」の結果を基に算出。

※2 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

※3 「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成 28・29・令和元・2・4 年度は未実施。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
9	・新型コロナウイルス感染症拡大により活動に影響が出ましたが、施設ボランティア、サークル活動での学習活動参加者による講座の開催や、ボランティアを地域につなげるコーディネートを通じて、学習の成果を地域に還元する機会を提供しました。	・引き続き、学習の成果を地域に還元する機会の確保や、ボランティアと市民のニーズとのマッチングなどの施策を進めます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、文化財課、中央図書館等

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
1	市民自主企画講座や施設ボランティアによる学習機会の提供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
2	学習成果の発表機会の提供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・生涯学習センターでは、市民自主企画講座 9 講座、市民自主企画パソコン講座 4 講座を開催し、市民が学習成果を還元する機会を確保しました。なお、施設ボランティアによるパソコン講座等は 32 講座実施しましたが、定期的に開催していたパソコン等の相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休止期間を設けて実施しました。 ・公民館では、サークル設立につながる主催講座を開催し、サークル活動での学習成果を参加者が講師となって講座を開催する等、学習成果の還元につながる事業を実施しました。 ・科学館では、ボランティアによる各種講座やワークショップ等の実施に向けた予備実験および試行会を 79 回実施した。 ・加曽利貝塚博物館では、ボランティアガイド（登録者 57 人）が 300 回、延べ 13,197 人に対して博物館及び野外観覧施設の解説を行いました。また、令和 2 年度に導入したタブレット端末を用いたガイド活動を行いました。 ・郷土博物館では、例年、3 階常設展示「千葉氏の興亡と妙見信仰」を中心に、ボランティアによる展示解説を実施しています（登録者数 62 人）が、令和 4 年度は 674 回、延べ 1,672 人に対して解説を行いました。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、8 月、9 月はボランティア活動を中止しました。 ・図書館では、育児サークル・保育施設・学校等の読み聞かせへのボランティア派遣を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施回数は例年に比べて減少しました。 （活動場所：19 か所、活動回数：30 回、活動人数：74 人）	・市民自主企画講座や、ボランティアによる展示解説・案内・読み聞かせを継続して実施します。
2	・生涯学習センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大により、プログラムの参加者を事前申込制にするなどして学習団体の学習成果を発表する機会となる「まなびフェスタ」を開催しました。また、生涯学習ボランティアの活動紹介や学習成果の発表の場となる「ボランティアフェア」を開催しました。活動紹介展示・活動体験コーナーの他、収録映像による活動紹介も行いました。 ・公民館文化祭は、新型コロナウイルス感染症の影響により 18 館のみの実施となりましたが、前年度の 2 館からは数値を伸ばしました。一部の公民館では発表の様子をオンラインで配信するなどの取り組みも行いました。	・引き続き、学習成果の発表の場を提供し、市民による自主的な学習活動の普及・啓発を支援します。

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
3	青少年交流事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
4	ボランティアセンター等におけるコーディネートの実施	ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネート	198 件（H26）	260 件	231 件	221 件	234 件	262 件	123 件	341 件	439 件	達成
5	生涯学習ボランティアの活動場所の提供	生涯学習センター内にボランティア活動スペースを提供	検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	達成

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
3	・生涯学習センターでは、青少年団体に生涯学習施設を貸し出し、青少年の自主的な活動及び異世代交流による健全育成を図りました。 ・公民館では、青少年団体へ施設を貸し出すことにより、青少年の自主的な活動を促しました。 ・南部青少年センターでは、学年の異なる児童生徒に体験学習の場を提供し、異年齢の交流を通して青少年の健全な育成を図るため 15 講座実施しました。	・社会性やコミュニケーション能力、感性などを育む体験の場を提供し、青少年の健全育成を支援します。
4	・オンライン配信の活用により音楽演奏や落語披露など登録ボランティアの活動の場を広げたこともあり依頼件数が大幅に増加しました。公民館、高齢者施設との連携を深め、コロナ禍でのボランティア活動の継続を支援しました。	・ボランティアセンター登録者紹介講座等で、活動の様子をわかりやすく伝え、新しい利用者の開拓に努め、件数を増やしていきます。 ・また、オンライン配信による公民館との同時開催を積極的に進めていきます。
5	・生涯学習ボランティアが自ら積極的に活動・情報発信できるよう、生涯学習センター内に、ボランティアの活動場所となるスペース、および、登録者の方のチラシを設置できる場所を提供し、活動の支援も行いました。また、オンライン配信での発表の場を提供することもできました。	・ボランティアセンター登録者紹介講座のオンライン配信を充実させるなど活動の支援を行っていきます。

3-3　市民の参加・協働による学習活動の推進

施策の方針

- 地域が自主的に取り組む学習活動を支援し、地域課題を自ら解決するコミュニティづくりを目指します。
- 団体活動の後援及び情報発信の支援等を行います。
- 地域で活動する団体相互の連携を支援します。

成 果 指 標

生涯学習振興課

No.	指標	当初	目標	実績							
		H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
10	住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合	24.3% ※1	30.0%	— ※2	28.9%	31.8%	31.2%	40.5%	44.8%	41.1%	◎
		WEBアンケート（※3）									

※1 平成 27 年度末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出。

※2 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施。

※3 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から「WEB アンケート」により調査。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
10	・昨年度より、公民館運営審議会や運営懇談会などで議論された地域課題を講座に反映させる取り組みを継続して実施しました。前年度と比較すると 3.7 ポイント減少しましたが、計画期間全体でみると割合は高まってきています。	・公民館運営審議会や運営懇談会の議論の活性化をはじめ、地域の団体等と連携して主催事業を実施するなど、地域課題の解決に取り組んでいけるよう支援を続けます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、学事課、健全育成課

No.	事業名	新規・拡充項目継続	当初	目標	実績							
			H27 末	R4 末	H28 末	H29 末	H30 末	R1 末	R2 末	R3 末	R4 末	達成状況
1	多様な主体による学習活動の推進	公民館、生涯学習センターにおいて多様な主体と連携して実施した事業数	103事業(H26)	120事業	114事業	109事業	131事業	141事業	90事業	161事業	230事業	達成
2	公民館を拠点とした地域連携の推進	公民館の利用を促し、地域住民のつながりを深める	検討	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	達成
3	地域交流・多世代交流事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
4	学校支援地域本部やコミュニティ・スクール等の推進	連携組織の設置	学校支援地域本部 小：2校 中：1校	学校支援地域本部 小：34校 中：22校 コミュニティ・スクールのモデル実施（※）	学校支援地域本部 小：4校 中：2校	学校支援地域本部 小：10校 中： 6校	学校支援地域本部 小：16校 中：10校	学校支援地域本部 小：23校 中：13校	学校支援地域本部 小：30校 中：16校 千葉市版コミュニティ・スクールのモデル校の決定と実施に向けたスケジュールの確定	学校支援地域本部 小：35校 中：20校 千葉市版コミュニティ・スクールモデル事業の実施と次年度に向けたスケジュールの確定	学校支援地域本部 小：41校 中：24校 千葉市版コミュニティ・スクールモデル事業の実施と次年度に向けたスケジュールの確定	達成
5	健全育成活動の推進	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成
6	特別教室等の開放	継続しつつ、類似事業への移行を進める（※）	継続	継続しつつ、類似事業への移行（※）	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	中止
7	社会教育関係団体の育成	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	達成

※ 平成 30 年度末に行った中間見直しにより、目標値を変更。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	・コロナ禍で中止していた事業が再開し、大学や公民館との連携が増え、生涯学習センターでは 132 講座、公民館では 98 講座を実施しました。	・NPO 法人をはじめ、大学、民間企業、地域団体、生涯学習施設で活動している団体等と連携し、地域課題の把握に努め、学習内容と機会の充実に努めます。
2	・公民館クラブ・サークルや地域住民の方を講師とした講座を実施しました。また、地域団体を通じた講座受講者募集を行うなど、地域との連携に努めています。	・引き続き、公民館を拠点とした地域連携として、地域住民と連携した講座を推進していきます。
3	・公民館において、ボッチャ体験、コンサートなどの講座を 55 事業実施しました。	・今後も、多世代の市民が参加できる講座等を実施していきます。
4	・学校支援地域本部を 10 校増設することができました。千葉市 6 区においての偏りがあるので、令和 5 年度は区ごとの設置校数の偏りの是正を目指します。	・令和 5 年度も前年度同様、新たに 10 校での設置を予定しています。 ・千葉市版コミュニティ・スクールの条件整備と協働体制の強化を図ります。
5	・全 53 中学校区の青少年育成委員会において、感染症対策を講じながら、補導点検、あいさつ運動、レクリエーション等を行うことで地域の青少年の健全育成につながっています。 ・９月第３土曜日の「青少年の日」に「青少年の日フェスタ」を 3 年ぶりに開催し、延べ 2,754 人が来場し体験活動などに取り組みました。	・青少年育成委員会活動への支援を継続していくとともに、より一層の活性化を促していきます。 ・青少年やファミリー層の実態に合った「青少年の日フェスタ」の実施を計画しています。
6	・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和 4 年度は実施されませんでした。	・学校施設開放への移行等により、特別教室開放事業を実施する学校がなくなったため、本事業は令和 4 年度をもって廃止となりました。
7	・生涯学習センターでは、PTA や放課後こども教室コーディネーター等を対象とした講座を 1 講座実施しました。 ・公民館では、利用者団体等を対象とした講座を 17 講座実施しました。	・今後も社会教育団体を対象とした講座を継続して実施していきます。